

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、富士市の「我が家の地震対策・同報無線放送」・「住民主体のまちづくり」について、市民の意識・評価・要望などを把握することを目的とした。

## 2 調査の内容

「我が家の地震対策・同報無線放送」・「住民主体のまちづくり」について

## 3 調査の設計

- (1) 調査地域 富士市全域
- (2) 調査対象 富士市在住の満 20 歳以上 80 歳未満の男女
- (3) 標本数 3,000 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送調査
- (6) 調査期間 平成 27 年 6 月 12 日～6 月 30 日
- (7) 調査機関 株式会社トムス

## 4 回収結果

- (1) 発送数 3,000 人 (100.0%)
- (2) 回収数 1,694 人 (56.5%)
- (3) 有効回収数 1,694 人 (56.5%)

※有効回収数は、回収したが記入のない（または少ない）調査票を除いて集計した数。

## 5 地区別回収率

居住地区	発送数（人）	有効回収数（人）	回収率（%）
吉原	138	78	56.5
伝法	147	108	73.5
今泉	133	87	65.4
神戸	42	27	64.3
広見	151	69	45.7
青葉台	105	44	41.9
大淵	161	101	62.7
富士見台	70	44	62.9
原田	97	57	58.8
吉永	92	47	51.1
吉永北	31	17	54.8
須津	150	93	62.0
浮島	18	10	55.6
元吉原	105	58	55.2
富士駅北	168	81	48.2
富士北	84	61	72.6
富士駅南	156	93	59.6
田子浦	182	90	49.5
富士南	203	103	50.7
岩松	93	61	65.6
岩松北	130	52	40.0
鷹岡	137	79	57.7
丘	149	64	43.0
天間	72	40	55.6
富士川	101	61	60.4
松野	85	38	44.7
その他	0	-	-
わからない	-	14	-
無回答	-	17	-
合計	3,000	1,694	56.5

## 報告書を読む際の注意事項

- 1 比率はすべて百分比であらわし、小数点以下第2位を四捨五入している。このため百分比の合計が100%にならないことがある。
- 2 基数となるべき調査数は、Nまたは調査数と表示しており、回答比率はこれを100%として算出した。
- 3 質問の終わりに(M. A.)とあるのは、一人の対象者が2つ以上の回答をしてもよい設問であり、その百分比の合計は100%を超える場合がある。  
(M. A. =Multiple Answerの略)

- 4 分析の軸として用いたライフステージは、次のように分類している。

独身期	20～30代の未婚者
家族形成期	第一子が未就学児、または40歳未満の夫妻のみ
家族成長前期	第一子が小・中学生
家族成長後期	第一子が高校・大学生 (大学生・短大生・専門学校生・浪人生を含む)
家族成熟期	第一子が学校教育終了
老齢期	60歳以上の人

※ 家族形成期～家族成熟期の子どもがいる人は、いずれも60歳未満の人とした。40代・50代の未婚者、40代・50代の夫妻のみなど、分類されていない層がある。

## I 調査の概要

5 この調査は、等間隔抽出法により対象者を抽出したので、標本誤差は次式で近似できる。

$$\varepsilon = 2 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

$\varepsilon$  : 標本誤差  
 $n$  : 標本の大きさ  
 $P$  : 回答比率

回答者総数（1,694人）を100%とする質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が50%であるとすると、母集団（20歳以上の富士市民全体）の回答比率は47.5%～52.5%の間であると推定される。

回答比率	標本誤差
50%	±2.4%
60%または40%	±2.4%
70%または30%	±2.2%
80%または20%	±1.9%
90%または10%	±1.5%